

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-297063

(43)Date of publication of application : 26.10.2001

(51)Int.Cl.

G06F 15/00  
G06F 12/00  
G06F 12/14  
G06F 13/00  
G06F 15/16  
G06F 15/177

(21)Application number : 2000-109846

(71)Applicant : NTT COMMUNICATIONS KK

(22)Date of filing : 11.04.2000

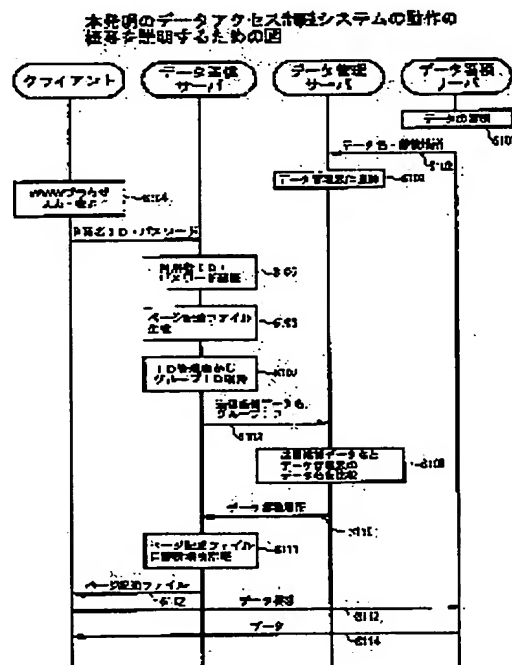
(72)Inventor : ARAKI HIDENORI  
NOMURA SUSUMU  
ASANO MAKI  
ANDO SAKAE

(54) METHOD AND SYSTEM FOR LIMITING DATA ACCESS AND STORAGE MEDIUM  
STORED WITH DATA ACCESS LIMITING PROGRAM

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a method and a system for data access limitation and a storage medium, stored with a data access limiting program, which allow a user to obtain data that the user has the right to access among data stored on plural servers connected through a compute network by controlling the access right in stages by using IDs and passwords given to each user.

**SOLUTION:** A server confirms the right to access individual data constituting a page description file requested by the user according to the ID given to each user and informs a client of the storage place of the data and the client obtains the data that the user has the right to access from decentralized servers through the computer network.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-297063

(P2001-297063A)

(43) 公開日 平成13年10月26日 (2001. 10. 26)

| (51) Int.Cl. <sup>7</sup> | 識別記号  | F I           | テマコード* (参考)       |
|---------------------------|-------|---------------|-------------------|
| G 0 6 F 15/00             | 3 3 0 | G 0 6 F 15/00 | 3 3 0 D 5 B 0 1 7 |
| 12/00                     | 5 4 5 | 12/00         | 5 4 5 F 5 B 0 4 5 |
| 12/14                     | 3 1 0 | 12/14         | 3 1 0 K 5 B 0 8 2 |
| 13/00                     | 3 5 1 | 13/00         | 3 5 1 E 5 B 0 8 5 |
|                           | 3 5 4 |               | 3 5 4 Z 5 B 0 8 9 |

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 11 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-109846 (P2000-109846)

(22) 出願日 平成12年4月11日 (2000. 4. 11)

(71) 出願人 399035766

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ  
株式会社

東京都千代田区内幸町一丁目1番6号

(72) 発明者 荒木 秀教

東京都千代田区内幸町一丁目1番6号 エ  
ヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株  
式会社内

(74) 代理人 100070150

弁理士 伊東 忠彦

最終頁に続く

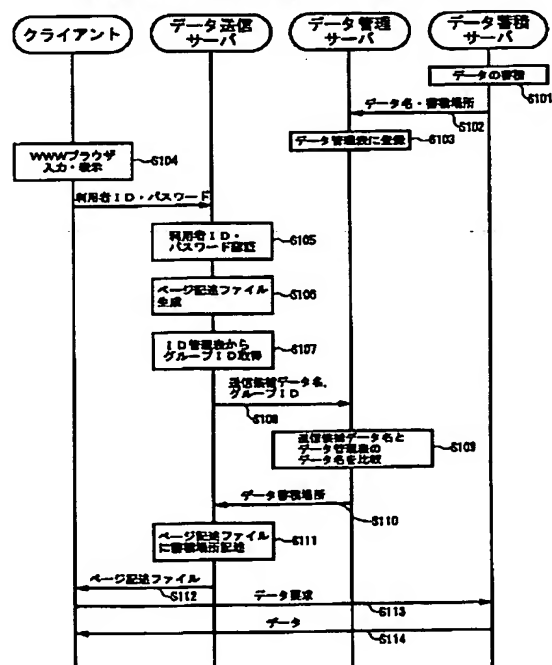
(54) 【発明の名称】 データアクセス制限方法及びシステム及びデータアクセス制限プログラムを格納した記憶媒体

(57) 【要約】

【課題】 コンピュータネットワークを經由して接続された複数のサーバに蓄積されたデータについて、利用者毎に付与されたIDとパスワードにより多段階にアクセス権限を制御し、利用者がアクセス権限のあるデータについて利用者に取得させることが可能なデータアクセス制限方法及びシステム及びデータアクセス制限プログラムを格納した記憶媒体を提供する。

【解決手段】 本発明は、サーバは、利用者毎に付与されたIDを元に、該利用者から要求のあったページ記述ファイルを構成する個々のデータのアクセス権限を確認して、データの蓄積場所をクライアントに通知し、クライアントは、コンピュータネットワークを經由して分散して蓄積されたサーバからアクセス権限のあるデータを取得する。

本発明のデータアクセス制限システムの動作の概要を説明するための図



**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** コンピュータネットワークを経由してクライアントが、分散されてサーバに蓄積されているデータを取得するためのアクセスを制限するデータアクセス制限方法において、

サーバは、利用者毎に付与されたIDを元に、該利用者から要求のあったページ記述ファイルを構成する個々のデータのアクセス権を確認して、データの蓄積場所を前記クライアントに通知し、

前記クライアントは、前記コンピュータネットワークを経由して分散して蓄積されたサーバからアクセス権のあるデータを取得することを特徴とするデータアクセス制限方法。

**【請求項2】** 前記データのアクセス権を確認する際に、

データ名、アクセス制御情報、データ蓄積場所を登録した、分散して蓄積されたデータを一括管理する管理表に基づいて行う請求項1記載のデータアクセス制限方法。

**【請求項3】** コンピュータネットワークを介して分散されてデータを蓄積するデータ蓄積サーバと、該コンピュータネットワークを経由して該データ蓄積サーバに蓄積されているデータを取得するクライアントとを有し、データのアクセスを制限するデータアクセス制限システムであって、

利用者毎に付与された利用者IDを元に、該利用者から要求のあったページ記述ファイルを構成する個々のデータのアクセス権を確認するアクセス権確認手段と、前記アクセス権確認手段において前記利用者IDにアクセス権がある場合に、データの蓄積場所を前記クライアントに通知する蓄積場所通知手段とを有するデータ送信サーバを有し、

前記クライアントは、前記データ送信サーバから取得した前記データの蓄積場所に前記コンピュータネットワークを経由してアクセスしてアクセス権のあるデータを取得する手段を有することを特徴とするデータアクセス制限システム。

**【請求項4】** 前記アクセス権確認手段は、データ名、アクセス制御情報、データ蓄積場所を登録した、分散して蓄積されたデータを一括管理する管理表に基づいて行う手段を含む請求項3記載のデータアクセス制限システム。

**【請求項5】** コンピュータネットワークを介して分散されてデータを蓄積するデータ蓄積サーバと、該コンピュータネットワークを経由して該データ蓄積サーバに蓄積されているデータを取得するクライアントとを有し、データのアクセスを制限するデータアクセス制限システムにおいて、サーバに搭載されるデータアクセス制限プログラムを格納した記憶媒体であって、

利用者毎に付与された利用者IDを元に、該利用者から要求のあったページ記述ファイルを構成する個々のデー

タのアクセス権を確認するアクセス権確認プロセスと、

前記アクセス権確認プロセスにおいて前記利用者IDにアクセス権がある場合に、データの蓄積場所を前記クライアントに通知する蓄積場所通知プロセスとを有することを特徴とするデータアクセス制限プログラムを格納した記憶媒体。

**【請求項6】** 前記アクセス権確認プロセスは、データ名、アクセス制御情報、データ蓄積場所を登録した、分散して蓄積されたデータを一括管理する管理表に基づいて行うプロセスを含む請求項5記載のデータアクセス制限プログラムを格納した記憶媒体。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【発明の属する技術分野】** 本発明は、データアクセス制限方法及びシステム及びデータアクセス制限プログラムを格納した記憶媒体に係り、特に、コンピュータネットワークを経由して、クライアントからサーバからデータを取得する際のアクセスを制限するためのデータアクセス制限方法及びシステムに関する。詳しくは、コンピュータネットワーク経由でクライアントのWWWブラウザがWWWサーバから取得するデータアクセス制限方法及びシステム及びデータアクセス制限プログラムを格納した記憶媒体に関する。

**【0002】**

**【従来の技術】** 従来、コンピュータネットワーク経由でクライアントのWWWブラウザがWWWサーバから取得するデータを制限する方法として、IDとパスワードを利用者毎に付与し、サーバは、正しいIDとパスワードを入力した利用者がデータを取得できる仕組みが用いられている。これは、ページ記述ファイル単位、あるいは、複数のページ記述ファイルを格納したフォルダ単位でアクセスの可否を設定するものである。

**【0003】**

**【発明が解決しようとする課題】** しかしながら、サーバにおける、正しいIDとパスワードを入力した利用者がデータを取得できる仕組みは、1つのページ記述ファイルを構成する、例えば、画像、音声、ソフトウェア等、について個々のデータ単位で利用者ID毎にアクセスの可否を設定した上でアクセス可能なデータから動的にページを構成するものではない。

**【0004】** 本発明は、上記の点に鑑みなされたもので、コンピュータネットワークを経由して接続された複数のサーバに蓄積されたデータについて、利用者毎に付与されたIDとパスワードにより多段階にアクセス権を制御し、利用者がアクセス権のあるデータについて利用者に取得させることが可能なデータアクセス制限方法及びシステム及びデータアクセス制限プログラムを格納した記憶媒体を提供することを目的とする。

**【0005】** また、本発明の更なる目的は、複数のデー

タから構成される1つのページ記述ファイルについて、構成要素である個々のデータにID毎にアクセスの可否を設定した上で、利用者IDによりアクセス可能なデータから動的にページ記述ファイルを構成することが可能なデータアクセス制限方法及びシステム及びデータアクセス制限プログラムを格納した記憶媒体を提供することである。

#### 【0006】

【課題を解決するための手段】本発明（請求項1）は、コンピュータネットワークを経由してクライアントが、分散されてサーバに蓄積されているデータを取得するためのアクセスを制限するデータアクセス制限方法において、サーバは、利用者毎に付与されたIDを元に、該利用者から要求のあったページ記述ファイルを構成する個々のデータのアクセス権限を確認して、データの蓄積場所をクライアントに通知し、クライアントは、コンピュータネットワークを経由して分散して蓄積されたサーバからアクセス権限のあるデータを取得する。

【0007】本発明（請求項2）は、データのアクセス権限を確認する際に、データ名、アクセス制御情報、データ蓄積場所を登録した、分散して蓄積されたデータを一括管理する管理表に基づいて行う。

【0008】本発明（請求項3）は、コンピュータネットワークを介して分散されてデータを蓄積するデータ蓄積サーバと、該コンピュータネットワークを経由して該データ蓄積サーバに蓄積されているデータを取得するクライアントとを有し、データのアクセスを制限するデータアクセス制限システムであって、利用者毎に付与された利用者IDを元に、該利用者から要求のあったページ記述ファイルを構成する個々のデータのアクセス権限を確認するアクセス権限確認手段と、アクセス権限確認手段において利用者IDにアクセス権限がある場合に、データの蓄積場所をクライアントに通知する蓄積場所通知手段とを有するデータ送信サーバを有し、クライアントは、データ送信サーバから取得したデータの蓄積場所にコンピュータネットワークを経由してアクセスしてアクセス権限のあるデータを取得する手段を有する。

【0009】本発明（請求項4）は、アクセス権限確認手段において、データ名、アクセス制御情報、データ蓄積場所を登録した、分散して蓄積されたデータを一括管理する管理表に基づいて行う手段を含む。

【0010】本発明（請求項5）は、コンピュータネットワークを介して分散されてデータを蓄積するデータ蓄積サーバと、該コンピュータネットワークを経由して該データ蓄積サーバに蓄積されているデータを取得するクライアントとを有し、データのアクセスを制限するデータアクセス制限システムにおいて、サーバに搭載されるデータアクセス制限プログラムを格納した記憶媒体であって、利用者毎に付与された利用者IDを元に、該利用者から要求のあったページ記述ファイルを構成する個々

のデータのアクセス権限を確認するアクセス権限確認プロセスと、アクセス権限確認プロセスにおいて利用者IDにアクセス権限がある場合に、データの蓄積場所をクライアントに通知する蓄積場所通知プロセスとを有する。本発明（請求項6）は、アクセス権限確認プロセスにおいて、データ名、アクセス制御情報、データ蓄積場所を登録した、分散して蓄積されたデータを一括管理する管理表に基づいて行うプロセスを含む。

【0011】上記のように、本発明は、コンピュータネットワークを介してクライアントから分散して配置されるデータが蓄積されているサーバへのアクセスを、クライアントのアクセス権限を管理する管理表に基づいて確認し、アクセス権限のあるクライアントに限定して行うことが可能となる。

#### 【0012】

【発明の実施の形態】図1は、本発明のデータアクセス制限システムの構成を示す。同図に示すシステムは、分散して蓄積されたデータへのアクセス制御を行うものであり、データ送信サーバ10、データ管理サーバ20、データ蓄積サーバ30、コンピュータネットワーク40、クライアント50から構成される。

【0013】データ送信サーバ10は、利用者ID・パスワード入力ページ11、1つ以上のページ生成プログラム12、及び図2に示す構成を有するID管理表13から構成される。

【0014】ページ生成プログラム12は、サーバにおいて、処理を行い、その結果としてクライアント50のWWWブラウザが表示可能なページ記述ファイル（HTMLファイル等）を出力するもので、例えば、CGIプログラム、perlスクリプト、Active Server Pageスクリプト等を利用して作成する。ページ生成プログラム12には、クライアントへの送信候補データ名が複数記述されている。クライアント50のWWWブラウザに表示されるページを記述するHTMLファイルは、一般にそのHTMLファイルに記述された表示文字や線等の内容の他に画像、音声、ソフトウェア等の他のデータを取得する場所が記述されており、クライアント50のWWWブラウザは、これに従ってデータ取得を行い、ページに埋め込んで表示する。ここで、送信候補データ名とは、利用者IDがそのデータ名のデータにアクセス権限があれば、クライアント50へ送信され、そうでなければクライアント50へは送信されないデータのデータ名である。

【0015】ID管理表13には、利用者IDとグループIDの対応を登録する。1つのグループIDには、1つ以上の利用者IDが対応する。利用者IDは複数のグループIDに所属していてもよい。利用者IDで個々のデータのアクセス権限を登録すると、登録数が膨大となるため、同じアクセス権限を持つ利用者IDをグループ化したものが、グループIDである。

【0016】データ管理サーバ20は、図3に示すデータ管理表21を有する。データ管理表21は、データ名、アクセス可能なグループID、蓄積場所から構成される。データの蓄積場所は、コンピュータネットワークを経由して別のサーバから一意に特定可能なデータの場所を表すもので、例えば、URLを用いる。

【0017】データ蓄積サーバ30は、クライアント50へ送信されるデータが蓄積される。蓄積される個々のデータについて、データ管理サーバ20のデータ管理表21に、そのデータのデータ名、そのデータにアクセス可能なグループID、そのデータの蓄積場所が登録される。データは、例えば、画像、音声、ソフトウェア等である。1つのデータにアクセス可能なグループIDが複数存在する場合は、その数だけ登録される。データ蓄積サーバは複数でもよい。

【0018】データ送信サーバ10、データ管理サーバ20、データ蓄積サーバ30は、図1のように、コンピュータネットワーク40を経由して、接続される別々のサーバでもよいし、1台のサーバにデータ送信サーバ、データ管理サーバ、データ蓄積サーバの機能を集約してもよい。

【0019】クライアント50は、WWWブラウザ51を持ち、コンピュータネットワーク40に接続されている。

【0020】次に、上記の構成における動作の概要を説明する。

【0021】データ蓄積サーバ30において、予めクライアント50に提供するデータを蓄積し（ステップ101）、蓄積したデータ名と蓄積場所をデータ管理サーバ102に通知する（ステップ102）。

【0022】データ管理サーバ20は、データ蓄積サーバ30から取得したデータ名とデータの蓄積場所、及び、アクセス可能なグループID等をデータ管理表21に登録する（ステップ103）。

【0023】クライアント50は、WWWブラウザを利用して、利用者の利用者ID及びパスワードを入力・表示し、利用者IDとパスワード及び取得したいデータ名をデータ送信サーバ10に通知する（ステップ104）。

【0024】データ送信サーバ10は、利用者ID・パスワード入力ページ11において、クライアント50から取得した利用者IDとパスワードについて認証を行い（ステップ105）、認証結果が正しければ、ページ生成プログラム12を起動させ、ページ記述ファイルを作成する（ステップ106）。次に、データ送信サーバ10は、ID管理表13からグループIDを取得し（ステップ107）、データ管理サーバ20へ送信候補データ名とグループIDを送信する（ステップ108）。データ管理サーバ20は、取得した送信候補データ名とデータ管理表21のデータ名を比較し、一致し、かつ、取得し

たグループIDにより当該クライアント50が、データを提供可能なクライアント（アクセス権限を有するクライアント）である場合には（ステップ109）、データ送信サーバ10へ当該データの蓄積場所を送信し（ステップ110）、データ送信サーバ10は、当該データ蓄積場所を取得し、ページ記述ファイルに当該蓄積場所を記述して（ステップ111）、クライアント50に当該ページ記述ファイルを送信する（ステップ112）。

【0025】クライアント50は、ページ記述ファイルを取得すると、当該ファイルに記述されている蓄積場所に対して、データ要求を行い（ステップ113）、要求されたデータ蓄積サーバ30よりデータを取得する（ステップ114）。

【0026】

【実施例】以下、図面と共に本発明の実施例を説明する。

【0027】まず、クライアント50へ送信されるデータの登録処理を行う。データ蓄積サーバ30にデータを格納し、データ管理サーバ20のデータ管理表21にデータ名、アクセス可能なグループID、蓄積場所を登録する。複数のサーバに分散したデータの蓄積場所やユーザ毎のアクセス権限の一括管理は、X.500、LDAP等の標準プロトコルを実装したソフトウェアを利用することにより遠隔からでも情報の登録・更新が可能である。

【0028】以下に、利用者がデータを取得する処理について説明する。

【0029】図5は、本発明の一実施例のデータ取得の流れを示す。

【0030】利用者は、クライアント50のWWWブラウザ51を使用して、データ送信サーバ10の利用者ID・パスワード入力ページを取得し、表示する（ステップ201）。このページに利用者ID、パスワードを入力して、データ送信サーバ10へ送信する（ステップ202）。

【0031】データ送信サーバ10は、入力された利用者ID・パスワードを認証し、認証結果が正しければ（ステップ203）、利用者IDを引数としてページ生成プログラム12を起動する（ステップ204）。認証結果が正しくなければ、処理を中断する（ステップ205）。

【0032】ページ生成プログラム12は、ページ記述ファイルを作成する。ページ生成プログラム12は、ID管理表13から利用者IDが所属するグループIDを検索し、グループIDを得る（ステップ206）。

【0033】次に、ページ生成プログラム12に記述された個々の送信候補データ名について、データ管理サーバ20のデータ管理表のデータ名とこの送信候補データ名が一致し、かつ、データ管理サーバ20のデータ管理表21のアクセス可能なグループIDと、利用者IDか

ら検索して得たグループIDが一致するものが、データ管理表21に存在した場合（ステップ207、Yes）、ページ生成プログラム12は、そのデータの蓄積場所を取得し、ページ記述ファイルに記述する（ステップ208）。存在しなければ（ステップ207、No）、記述しない。

【0034】ページ生成プログラム12に記述された個々の送信候補データ名について同様の処理を行い、生成されたページ記述ファイルの内容をクライアント50に送信する（ステップ209）。

【0035】クライアント50のWWWブラウザ51は取得したページの記述に従い、データの蓄積場所からデータを取得する（ステップ210）。

【0036】上記のページ生成プログラム12の例を図6、図7に示す。

【0037】また、データ管理サーバ20は、データ送信サーバ10と同一LAN上にある場合にデータベース接続でデータ管理表21を参照する方法を用いている。

【0038】図8は、本発明の一実施例のページ生成プログラムが生成するページ記述ファイルの例を示す。同図に示すページ記述ファイルは、データ蓄積サーバ30のアドレスを「www.a.com」、データ名1のデータ名を「data1.gif」、データ名2を「data2.gif」としたものであり、この例は、利用者IDが「送信候補データ名1」にアクセス不可能であり、「送信候補データ名2」にアクセス可能であった場合である。

【0039】また、データ送信サーバ10のページ生成プログラム12を当該データ送信サーバ10に接続されるディスク装置や、フロッピー（登録商標）ディスク、CD-ROM等の可搬記憶媒体に格納しておき、本発明を実施する際にインストールすることにより、容易に本発明を実現できる。

【0040】なお、本発明は、上記の実施例に限定されことなく、特許請求の範囲内において、種々変更・応用が可能である。

【0041】

【発明の効果】上述のように、本発明は、コンピュータネットワークを経由して接続された複数のサーバに蓄積

されたデータについて、利用者毎に付与されたIDにより、多段階にアクセス権限を制御し、利用者がアクセス権限のあるデータを動的に構成したページ記述ファイルを利用者に取得させることが可能となる。

【0042】また、サーバには、IDに応じたページ記述ファイルを複数用意する必要がなく、IDに応じたアクセス可能なデータの変更は、管理表の内容を変更するだけでよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のデータアクセス制限システムの構成図である。

【図2】本発明のデータ送信サーバのID管理表の構成図である。

【図3】本発明のデータ管理サーバのデータ管理表の構成図である。

【図4】本発明のデータアクセス制限システムの動作の概要を説明するための図である。

【図5】本発明の一実施例のデータ取得の処理の流れである。

【図6】本発明の一実施例のページ生成プログラムの例（その1）である。

【図7】本発明の一実施例のページ生成プログラムの例（その2）である。

【図8】本発明の一実施例のページ生成プログラムが生成するページ記述ファイルの例である。

【符号の説明】

- 10 データ送信サーバ
- 11 利用者ID・パスワード入力ページ
- 12 ページ生成プログラム
- 13 ID管理表
- 20 データ管理サーバ
- 21 データ管理表
- 30 データ蓄積サーバ
- 31 データ
- 40 コンピュータネットワーク
- 50 クライアント
- 51 WWWブラウザ

【図2】

本発明のデータ送信サーバのID管理表の構成図

13

| 利用者ID | グループID |
|-------|--------|
|-------|--------|

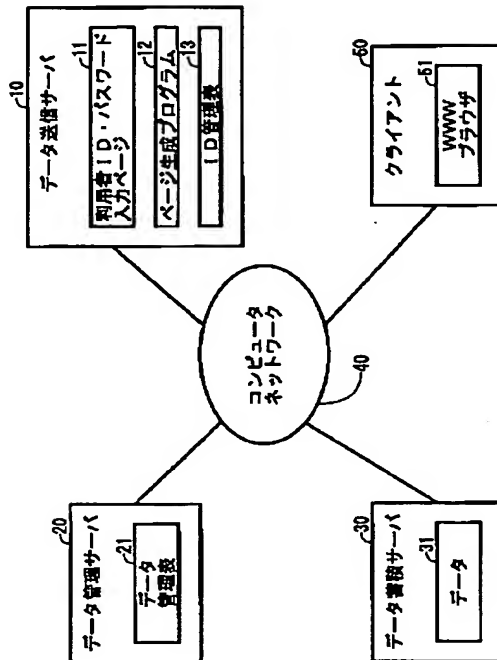
【図3】

本発明のデータ管理サーバのデータ表の構成図

| データ名 | アクセス可能なグループID | 蓄積場所 |
|------|---------------|------|
|------|---------------|------|

【図1】

本発明のデータアクセス制限システムの構成図



【図8】

本発明の一実施例のページ生成プログラムが生成するページ記述ファイルの例

```

<html>

<head>
</head>

<body>

<center>
表示可能な画像
<img src=http://www.a.com/data2.gif>

</body>
</html>

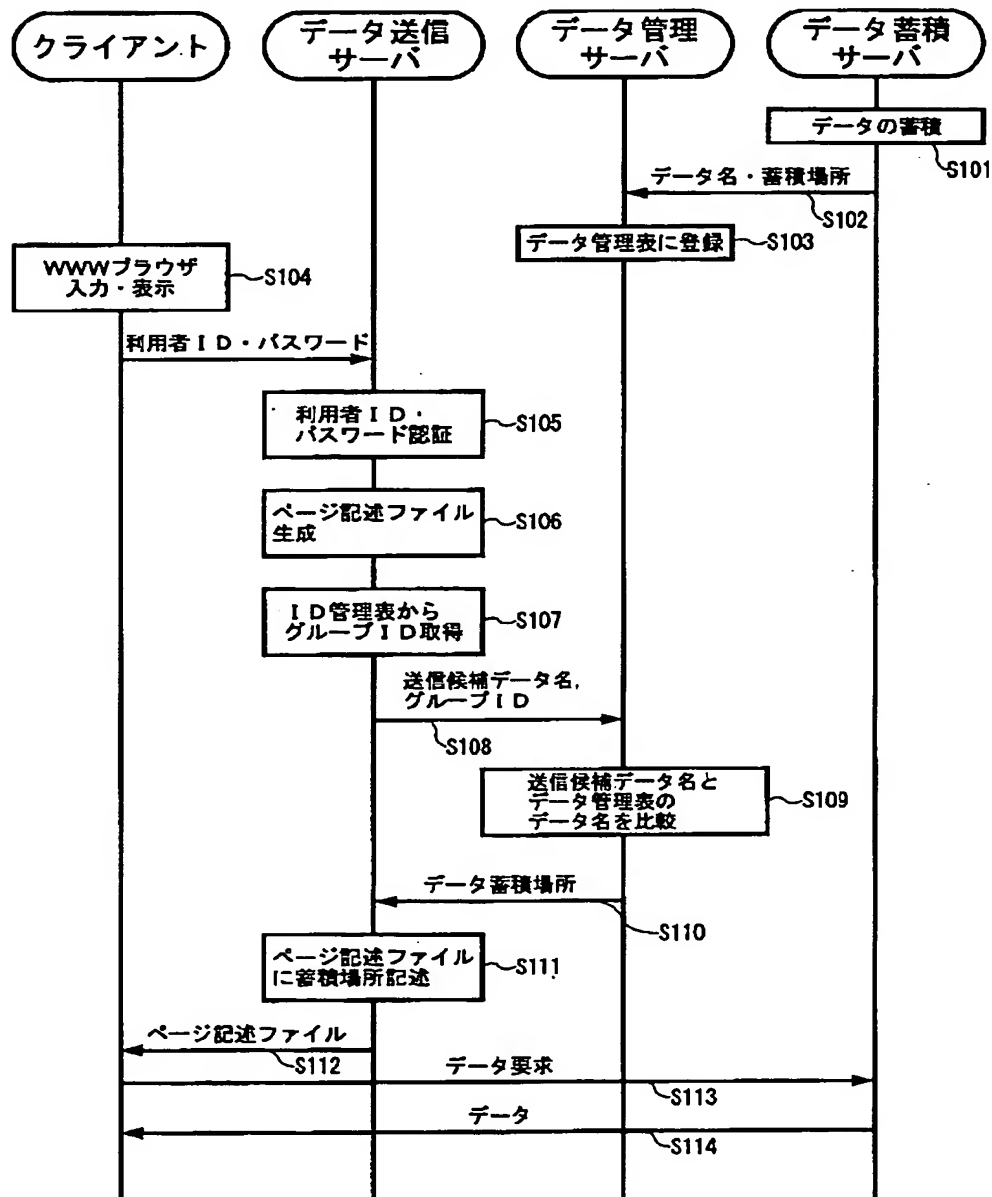
```

※データ蓄積サーバのアドレスをwww.a.com、データ名1のデータ名を data1.gif、データ名2のデータ名のデータ名を data2.gifとした。この例は、利用者IDが「送信候補データ名1」にアクセス不可能、「送信候補データ名2」にアクセス可能であった場合である。



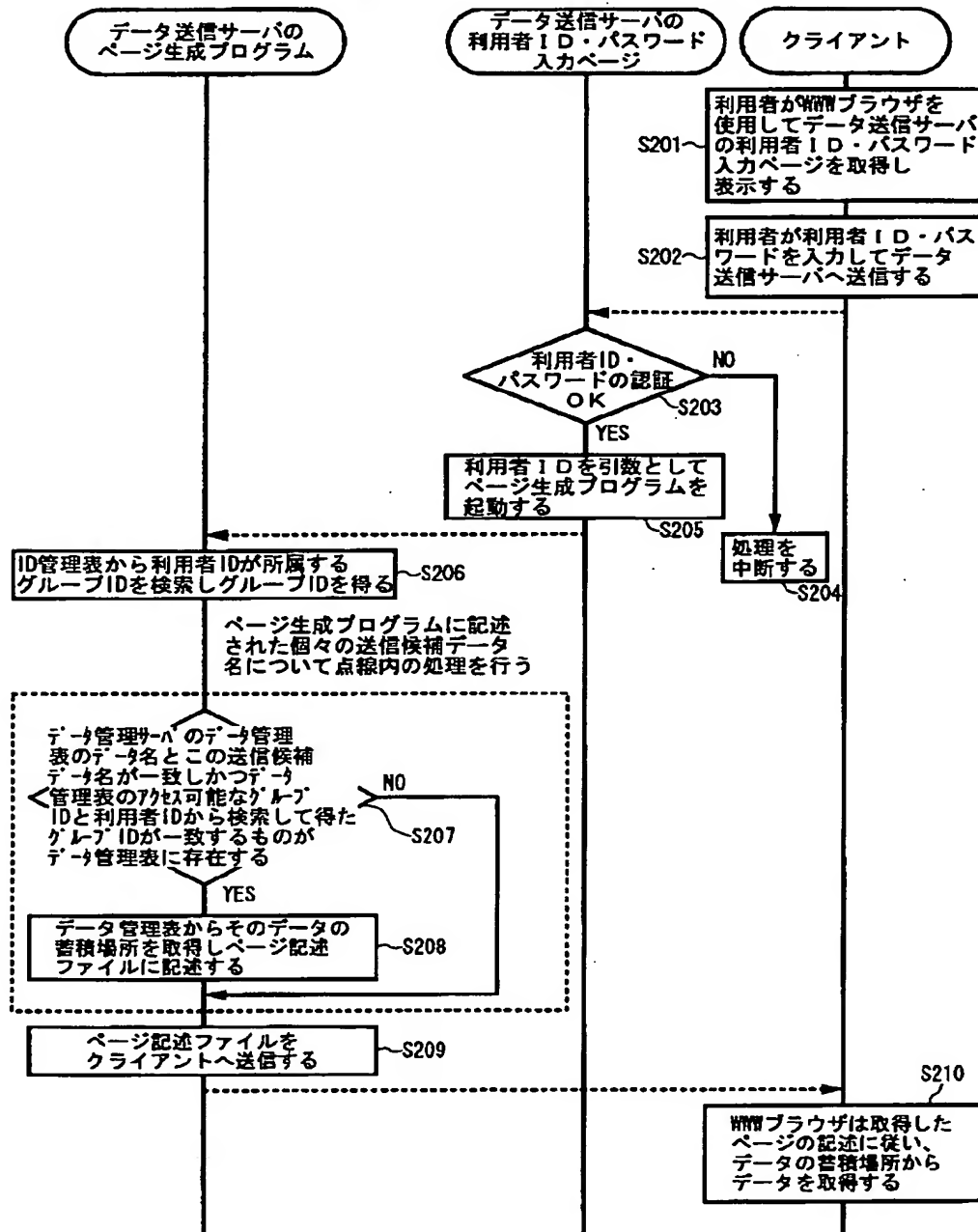
【図4】

本発明のデータアクセス制限システムの動作の概要を説明するための図



【図5】

## 本発明の一実施例のデータ取得の処理の流れ



【図6】

## 本発明の一実施例のページ生成プログラムの例(その1)

```

<OBJECT RUNAT=Server ID=Conn1 PROGID="ADODB.Connection"></OBJECT>
<OBJECT RUNAT=Server ID=Conn2 PROGID="ADODB.Connection"></OBJECT>

<%
    UserID = Request.Form(UserID)

    Conn1.Open "Data SendServer","sa",""
    Conn2.Open "Data AdminServer","sa",""

    利用者ID からグループID を検索する
    sql1="select Group ID from ID Admin Table where userID='"&UserID &""
    rs1 = Conn1.Execute(sql1)

%>

<html>

<head>
</head>

<body>

<center>
表示可能な画像
</center>

<%
    「送信候補データ名1」のアクセス権限を調べる
    Count=0
    Do While Not rs1.EOF Then
        sql2="select Data Address from DataAdmin Table"
        sql2=sql2 & "where DataName='送信候補データ名1'and GroupID="
        sql2=sql2 & rs1(0)&""
        rs2 =Conn2.Execute(sql2)

        If Not rs2.EOF Then
            Count=1
        End If
        rs1.MoveNext
    Loop

    If Count=1 Then
        「送信候補データ名1」のアドレスを記述する
    %>

```

【図 7】

## 本発明の一実施例のページ生成プログラムの例(その 2)

```

<p>
データ名 1 の画像

<%
        End If
%>

<%

'送信候補データ名 2」のアクセス権限を調べる
Count=0
Do While Not rs1.EOF Then
    sql2="select Data Address from DataAdmin Table"
    sql2=sql2 & "where DataName='送信候補データ名 2' and GroupID="
    sql2=sql2 & "&rs1(0)&"
    rs2=Conn2.Execute(sql2)

    If Not rs2.EOF Then
        Count=1
    End If
    rs1.MoveNext
Loop

If Count=1 Then
'送信候補データ名 2」のアドレスを記述する
%>
<p>
データ名 2 の画像

<%
        End If
%>

</body>
</html>

<%
        rs1.Close
        rs2.Close

        Conn1.Close
        Conn2.Close
%>

```

## 【手続補正書】

【提出日】平成 12 年 4 月 14 日 (2000. 4. 14)

## 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項 1】 コンピュータネットワークを経由してクライアントが、分散されてサーバに蓄積されているデータを取得するためのアクセスを制限するデータアクセス制限方法において、  
サーバは、利用者毎に付与された ID を元に、該利用者から要求のあったページ記述ファイルを構成する個々のデータのアクセス権限を確認して、データの蓄積場所を

前記クライアントに通知することを特徴とするデータアクセス制限方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項 3】 コンピュータネットワークを介して分散されてデータを蓄積するデータ蓄積サーバと、該コンピュータネットワークを経由して該データ蓄積サーバに蓄積されているデータを取得するクライアントとを有し、データのアクセスを制限するデータアクセス制限システムであって、利用者毎に付与された利用者 ID を元に、該利用者から要求のあったページ記述ファイルを構成する個々のデータのアクセス権限を確認するアクセス権限確認手段と、前記アクセス権限確認手段において前記利用者 ID にアクセス権限がある場合に、データの蓄積場所を前記クライアントに通知する蓄積場所通知手段とを有するデータ送信サーバを有することを特徴とするデータアクセス制限システム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明（請求項 1）は、コンピュータネットワークを経由してクライアントが、分散されてサーバに蓄積されているデータを取得するためのアクセスを制限するデータアクセス制限方法において、サーバは、利用者毎に付与された ID を元に、該利用者から要求のあったページ記述ファイルを構成する個々のデータのアクセス権限を確認して、データの蓄積場所をクライアントに通知する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正内容】

【0008】本発明（請求項 3）は、コンピュータネットワークを介して分散されてデータを蓄積するデータ蓄積サーバと、該コンピュータネットワークを経由して該データ蓄積サーバに蓄積されているデータを取得するクライアントとを有し、データのアクセスを制限するデータアクセス制限システムであって、利用者毎に付与された利用者 ID を元に、該利用者から要求のあったページ記述ファイルを構成する個々のデータのアクセス権限を確認するアクセス権限確認手段と、アクセス権限確認手段において利用者 ID にアクセス権限がある場合に、データの蓄積場所をクライアントに通知する蓄積場所通知手段とを有するデータ送信サーバを有する。

フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

識別記号

F I

レコード (参考)

G 0 6 F 15/16

6 2 0

G 0 6 F 15/16

6 2 0 B

15/177

6 7 0

15/177

6 7 0 C

(72) 発明者 野村 進

東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 6 号 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社内

(72) 発明者 安藤 栄

東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 6 号 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社内

(72) 発明者 浅野 真樹

東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 6 号 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社内

F ターム (参考) 5B017 AA01 BA06 BB06 CA16

5B045 AA03 BB28 BB47 BB48 BB58

DD16 GG06

5B082 GA11 HA08

5B085 AA08 AE02 AE03 AE23 BA06

BG02 BG07 CA04

5B089 GA11 GA21 GB04 HA01 JA12

JA33 KA17 KB07 KB13 KC58